



おあなた

- 四つの道しるべ**
- 学び知ることの楽しさを味わおう
  - すなおな心で真実を求めよう
  - 身体をすこやかに鍛えよう
  - 限りなき恵みに感謝しよう

発行／札幌大谷中学校・札幌大谷高等学校  
保護者と教職員の会

編集／広報部  
印刷／(株) 辻孔版社

# 卒業おめでとう!!



## 「卒業おめでとう!!」がこみます

PTA会長 岡田 稔也



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、本日までご立派にお子様を育ててこられた保護者の皆様にも、心よりお祝いを申し上げます。

卒業生の皆さんは、この大谷学園で生活した期間にいろんな出来事があったことでしょう。特に今年度はコロナ禍問題で学校行事も全て休止、授業もリモートでなど、ある意味忘れられない経験をしましたね。

このコロナについては百年に一度の人類に対しての試練などと言われております。確かに親鸞聖人の時代でも飢饉があり、世界規模でも数多くの感染症と向き合ってきた人類です。

しかしその都度問題と向き合い乗り越えてきた事実があります。

仏教の教えの中に「諸行無常」という言葉があります。「諸行無常」とは、この世のものはたえまなく変化し続けているという事実を、ありのままに述べたもので、仏教の真理の一つなのです。

ですから「明けぬ夜は無い」ですし「止まぬ雨」もありませんから必ずコロナは終息する時が来ます。

皆さんは春からは新しい環境での生活が始まりますが、この大谷で学んだことを活かし活躍されることと思います。皆さんの無事を念じてお祝いの言葉とさせていただきます。



## 「卒業に寄せて」

札幌大谷中学校・高等学校  
校長 種市 政己



みなさん、卒業おめでとう。昨年二月から新型コロナウイルスの影響で、この一年半の間、みなさんは大変不自由な生活を強いられましたね。平常の学校生活、クラブ活動、学習、放課後活動が大きく制限され、普段何気なく過ごしていた友達との語らいの場も失われてしまいました。活動的なみなさんが思うように行動できない状況が続き、きつと辛い思いをしたことと思います。一生に一度あるかないかの、未曾有の事態です。

世界全体が苦しんでいる中、私たちがこの現実をどのように生きていくのか大きく問われています。自分の国さえ安全であればいいと考える国や、この状況をうまく活用し、自国の立ち位置を有利にするような外交戦略をとったりする国が現れたりします。地球的規模でそれぞれの国の品位が試されるのではないかと思っています。そして、地域社会、なにかんづく私たち一人一人がこの状況をどのように捉えどのように行動するかが試されています。私たち一人一人の矜持(きょうじ)が問われていることを肝に銘じて、生活していきましょう。

# 祝！卒業

## 未来へ向かって

### 「卒業に向けて」

六年一組 佐野翔騎郎

札幌大谷高校で過ごした三年間で、さまざまな思い出やたくさん学ぶことがありました。神宮大会や甲子園に出場した喜びやコロナウィルスで行事や大会が中止になった悔しい経験など、三年間でたくさん学ぶことがありました。このような状況で卒業していくのはとても残念ですが、この経験を自分の強みにできる立派な大人になれるような大学生活や社会人生活を、この六年生全員が送れるようにしていきたいです。

### 「卒業に向けて」

六年二組 佐野 宏太

僕は高校三年間を部活動に捧げてきました。コロナウィルスの影響でインターハイはなくなりましたが、三年間の集大成である選手権では北海道代表を勝ち取り、全国大会に出場することができました。大舞台に立つと雰囲気は圧倒されてしまい、札幌大谷の背番号十番として不本意な結果に終わってしまいました。僕は将来、プロサッカー選手になり、日本を代表する選手になることを目標にしています。この高校サッカーの経験を忘れずに、卒業後も大学で練習に励み、精進していきたいと考えています。

### 「経験に勝る財産は無し」

六年三組 鈴木 浩人

私は入学した時からの目標である全国大会出場と夢のプロサッカー選手になる為、毎日の授業と部活動に一生懸命取り組んできました。部活動では先輩や後輩・強豪チームからたくさん刺激を受けて私自身の力の無さを実感し、とても苦労しました。しかし、たくさんの人に支えて頂き、大きく成長できました。コロナで大変な中、全国大会に出場させて頂き心から感謝します。この経験を存分に活かし、今後も夢達成に向かって頑張っていきます。

### 「たまにはマジメに。」

六年四組 春名 倫太

札幌大谷で過ごす中で沢山の出会いがありました。好きな人、嫌いな人、尊敬できる人、会いたくないと思う人。出合いのすべてに興味があり、良くも悪くもその人のおかげで成長できた部分があります。その時々に出会った人は自分が必要としている人であり、それは出会った後に気が付くものだと思います。人は必要な時に必要な人と出会うと思っていて、私は札幌大谷で過ごした三年間を信じていきたいと思っています。

### 「未来へ前進」

六年五組 有田 実央

夜遅くまで体操競技に打ち込んできた日々。予想もなかったコロナ禍での高体連中止。大好きなことをここまで続けてこられたのは両親や仲間の支えがあったからだと感謝しています。進路選択においては随分悩みましたが、先生方の親身なアドバイスのもと、安心して決断できました。この学び舎で育んだ思い出と感謝の気持ちを胸に、未来に向けて前進します。六年間ありがとうございました。

### 「六年間を終えて」

六年六組 小川 士夢

私は六年間大谷に通って感じたことがあります。それは仲間の大切さです。朝学校に登校して、クラスメイトと授業を受け、放課後はバスに乗りグラウンドで練習するのが日常でした。しかし、コロナのせいでこの日常を奪われてしまい、思うようにいかない一年でした。この一年を乗り越えられたのは仲間がいたからだと思うので、高校卒業後も今まで出会ってきた仲間を大切にしたいです。

## 「高校生活を経て」

六年七組 安孫子 花鈴

私の進路が定まったのは、この高校生活があったからです。

入学してすぐに私は病に侵されました。けれども、私には心配してくれる友人達がいます。私は何度もそんなみんなの優しさに助けられてきました。しかし、そんな友人達にも苦悩があります。私は少しでもその心を軽くするお手伝いがしたいと思い、卒業後の進路を決めました。

今後は自分の為だけではなく、周りの人々の為にも頑張りたいです。

## 「思い出し」

六年八組 足立 愛海

もう二度と経験できない貴重な高校生活でした。各々が様々な経験をしたと思います。私も挫折しそうになりたくさん悩みました。また、感染症対策で緊迫した状況の中で、六年生は最後の一年が思うように楽しめなかったり、皆色々な我慢があったりしたと思います。しかし、私は美術科で三年間学んだことや出来事もこの状況も無駄ではなく、全て自分のこれからの人生を彩ってくれる大切なものだと感じます。

## 「最高の仲間」

六年九組 大西 瑠奈

私達、六年九組は六年間という長いようで短い時間の中、仲を深めてきました。私達のクラスは人数が少なかったのですが、学園祭等では人数が足りず、不利だと感じることも少なくありませんでしたが、それでも一生懸命、みんなで協力して一つのものをつくり上げたのは今でも良い思い出です。

大谷でこの最高の仲間達と出会えたことは、私の最高の宝物です。大学に行っても大切にしていきたいです。

## 「中学校生活の思い出」

三年一組 阿部彩弥香

私は先生方やクラスメイトに恵まれ、中学校生活を充実して過ごすことができました。特に今年は新型コロナウイルスの影響で行事が無くなってしまいましたが、笑わなかった日は無いぐらい楽しい日々を過ごせたと思います。高校生活でも充実した日々が過ごせるよう、何事にも手を抜かず、真剣に取り組んでいきたいと思えます。また、卒業に向けて、残り少ない一日一日を大切に過ごしていきたいです。

## 「中学校生活を振り返る」

三年三組 岡部 頼

僕がこの札幌大谷中学校に入学した動機は、強い野球部に魅力を感じたからです。入学した当初は先輩方のレベルの高さについていけないかと不安を感じていましたが、先輩方が優しく声を掛けてくださり、徐々に慣れていくことができました。そして三年の夏、目標としていた全国大会に出場でき、一勝できた事はとても良い経験になりました。この三年間、とても充実した中学校生活でした。

## 「試練を乗り越えて」

三年二組 井上 翔己

僕は中学入試という試練を乗り越えたことで、すばらしい仲間、すばらしい先生に出会うことができました。さらに学校生活、部活動共に、人生の中でも特に貴重な経験を経ることができました。そして、「大谷に通わせてもらって、さらにサッカーをさせてもらっている」という親への感謝の気持ちを持つことができました。人生の中で大切なものに気付かせてくださった先生方、色々な経験を共にした仲間達に感謝したいです。

## 「一番印象に残ったこと」

三年四組 菅野 柚月

中学校生活で一番印象に残った出来事は、修学旅行です。九州の文化や戦争の恐さについて学びました。

九州には、歴史が深い建物がたくさんあって、見るのが楽しかったです。原爆資料館では戦争の恐さについて学びました。戦争のことは難しくても残酷なんだなと思いました。

私は、この経験を通して、他の物事も学んでみたいと思いました。





## 「プロの世界へ」

六年三組 阿部 剣友

僕は、この度のNPBドラフト会議で読売巨人軍に育成8位で指名して頂きました。

おめでとう!!

# 読売巨人軍 育成8位指名

家族や先生方、一緒に頑張った仲間たちの支えがなければ、ここまで頑張れなかったと思っております、とても感謝しています。

僕は「甲子園に行く!」という強い意志を持ち、毎日目標に向かって練習を続け、自信を持てるようになったことで精神的にも成長が出来たと感じております。親元を離れ、何でも自分でやらなければいけない、そんな毎日の生活が僕を成長させ、「プロを目指そう」という気持ちにさせてくれました。

育成選手での入団となりますので、まずは支配下登録とされるように必死に練習をし、一軍での活躍を皆さんに見て頂けるよう頑張ります。そして、いつの日か、日本を代表する投手になって札幌大谷高校に良い報告が出来るように頑張ります。応援よろしくお願致します。



## 阿部剣友君へ

札幌大谷高校野球部  
監督 船尾 隆広

『プロに行く』という目標を持って入学し、決して器用ではなかったですが、こつこつと努力を重ね、目標を達成しました。「みんなで頑張ろう」という高校野球の世界から、「自分の成績が全て」のプロの厳しい世界へと飛び込みます。支配下登録、一軍昇格、プロ初勝利と一つずつ目標を達成し一年でも長くプレーできるように、自分を見失わず歩んで欲しいと思います。

## 陸上競技部

「先を見る力」

五年三組 植村 哲平

今年はコロナ禍の中、たくさんの方々の協力の下で陸上インターハイ全国代替大会に出場させてもらう事が出来ました。しかし大会直前に疲労骨折を起こしてしまい結果は誇れるものではありませんでした。正直もう自分だけかもしれないと思ってしまっていました。しかし周りの支えや励ましの言葉をもらい、ふと先の事を考えました。「これから先の事で絶対悪い想像をしてはダメだ。今を『最悪の状態』であると信じていれば今より良い未来を想像できる。」と。





今年 is 新型コロナウイルスの流行により、三ヶ月の部活動自粛やインターハイの中止など今までにないシーズンになりました。例のない状況でこそチームの真価が試されると思いチーム・個人の成長にフォーカスした日々を送った過程をこの全国

「全国高校サッカー選手権大会を終えて」  
六年三組 伊東 涼哉

### ◆ 高校サッカー部 第99回全国高校サッカー選手権大会出場

大会に結びつけることができました。一方で、大会の選手宣誓であったように私たちの周りには最後の大会を行うことができず引退していった選手が多くいます。

当たり前が当たり前でないと言ったことを肌で感じ、想像以上の方々に応援され支えられているということを実感しつつ、最高の舞台でプレーできたことは生涯における財産になりました。

後輩たちが、また来年この舞台に戻って来てくれることを願っています！

#### 「貴重な一年を通して」

札幌大谷高校サッカー部  
監督 田部 学

予想もしないコロナ禍という前代未聞の中、選手&スタッフは創意と工夫と強い「想い」で乗り越えてきた一年でした。集大成となる最後の選手権大会で躍動し、北海道優勝そして全国の舞台へ導いた選手たちに敬意と感謝の念で一杯です。後輩たちへ大きな背中をありがとう！

「北海道から  
金メダル」  
二年二組 川崎 沙綾

### ◆ 中学卓球部

テレビで見ると有名な選手も出場する大会に、今回私は出場しました。コロナの影響があり声援のない静かな会場のため緊張感がありました。私は二回戦でフルセットの末、負けました。自分の試合に対しての意識の甘さを痛感し、後悔が残る試合になってしまいました。今年一年は一つ一つが自分にとって最後の大会となります。今回の大会で見つけた課題に真剣に取り組み、もっと「勝ち」を追求して後悔のないようにしたいです。

「全国大会に  
出場した」  
五年一組 買手 日菜

### ◆ 高校卓球部

卓球部は「北海道から金メダル」を目指し、全国大会でも結果が残せるように、日々の練習に励んでいます。ですが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、部活動の自粛や全国大会が中止となりました。今まで当たり前でできていた卓球ができなくなると、改めて卓球のできる喜びを感じた期間でした。

次年度は最後の中体連なので、果たせなかった金道優勝をしたいです。中学のキャプテンとして後輩を引っ張っていきけるように頑張ります。



◆高校フェンシング部



今年度は例年と違い、新型コロナウイルスの影響により多くの大会が中止になりました。そんな中、一月に全国大会が行われ、出場することができました。高校生になり初の全国大会でもと緊張しました。久しぶりに試合をしてみても、思うようなプレーをすることができず、改めて全国のレベルの高さを実感しました。今回の試合を振り返り、次の大会まで少しでも全国で通用するプレーができるように、日々練習に励んでいきたいと思えます。

「全国大会に  
出場して」

四年三組 井下 玲菜

◆高校美術科



今回の高文連は例年と異なりウェブ上での展示。そこで展示されるのがたとえ写真でも、直接絵画を観るとき足を止めて観るように、画面上では手を止めて観て欲しい。このような思いから、大きな目玉を配置して、思わず手を止めてしまうような絵を描こうと決めました。それから幾度も描き直して、自分の世界観を表現することのできたこの作品の目に触れ、そして、心に残るものとなって欲しいです。

「見る人を  
惹きつける絵」

五年八組 豊岡 花月

◆中学野球部

去年の八月、大阪に行って、全国大会に出場してきました。コロナの影響で延期と言われていて不安だったけど、出場できたので良かったです。初戦の相手は川口シニアでした。打線が強くなり、9点を取って9対2でコールド勝ちできたので、嬉しかったです。二回戦の相手は大阪福島シニアでした。なかなか相手ピッチャーを打ち崩せず、守備のミスもあって、8対1で負けてしまいました。今回の遠征で、成長した部分もあれば課題も見つかったし、何よりとても良い経験ができて良かったです。



「大阪選抜大会」

三年一組 辻本 陸翔

◆中学女子バレーボール部

去年、全国の強いチームを見てとてもワクワクして「来年は自分ごとと楽しみにしていたので、大会に参加でき本当に嬉しかったです。思い切り楽しもうと挑んだけれど、大切などころで勝てず、「本気でやる」「出し切る」と言うのは簡単だけど本当にやり切るのとはとても難しいと感じました。最後にこのような大会を用意していただき、全国で戦って締めくくることができ幸せでした。関わってくださった全ての方に感謝したいです。



「つながった思い」

三年三組 栗城 姫菜

# 新生札幌大谷中学校 「医進選抜コース」スタート!

札幌大谷中学校

副校長 常 本 眞理子

二〇二一年度から、札幌大谷中学校は大きく変わります。今までの「英数選抜コース」「特進コース」「音楽コース」「美術コース」を、二つのプログラム・五つのコースに再編します。「エミネンス・プログラム」は、医学部・歯学部を目指す新設の「医進選抜コース」と、医学部・歯学部以外の難関大学を目指す「英数選抜コース」から成り、「プロデューサー・プログラム」は、「プログラムコース」「アスリートコース」「アートコース」から成ります。

「医進選抜コース」では、医学部・歯学部への現役合格を可能とする「知力」を育て、医師として持つべき各自の「矜持」を探求します。独自のカリキュラムで、中二までに中学課程を、高二までに高校課程を修了し、高三では医学部受験対策に専念します。また、放課後には授業で学んだことを深める「講座」、さらに、最難関大学を目指す生徒を特別指導等で徹底的に鍛える「大

谷予備門」に中一から参加します。授業・講座・予備門は、長年にわたり予備校等で難関大学の受験指導に携わってきた精鋭教師陣を中心に担当します。  
新生札幌大谷中学校には是非ご期待ください。



## 札幌大谷中学校・高等学校の財務状況について

2019年度札幌大谷中学校・高等学校決算額

2019年4月1日～2020年3月31日

(単価:千円)

収入の部				支出の部			
科 目	中学校	高等学校	合 計	科 目	中学校	高等学校	合 計
学生生徒等納付金収入	108,226	398,354	506,580	人件費支出	208,691	558,755	767,446
手数料収入	2,519	11,844	14,363	教育研究経費支出	41,430	143,415	184,845
寄付金収入	9,235	30,080	39,315	管理経費支出	16,499	60,449	76,948
補助金収入	99,239	316,217	415,456	借入金等利息支出	114	1,321	1,435
資産売却収入	0	323	323	借入金等返済支出	18,860	208,100	226,960
付随事業・収益事業収入	8,086	13,181	21,267	施設関係支出	0	7,884	7,884
受取利息・配当金収入	0	0	0	設備関係支出	7,470	25,193	32,663
雑収入	864	6,731	7,595	資産運用支出	8,790	28,554	37,344
借入金等収入	0	131,269	131,269	その他の支出	15,892	104,815	120,707
前受金収入	9,750	45,267	55,017	-	-	-	-
その他の収入	16,558	272,178	288,736	-	-	-	-
資金収入調整勘定	△ 8,138	△ 43,763	△ 51,901	資金支出調整勘定	△ 9,143	△ 24,613	△ 33,756
前年度繰越支払資金	12,871	154,243	167,114	翌年度繰越支払資金	△ 49,392	222,050	172,658
収入の部合計	259,210	1,335,924	1,595,134	支出の部合計	259,211	1,335,923	1,595,134

## 人工芝グラウンドについて

札幌大谷中学校・高等学校

教頭 梅津 義信

二〇二〇年度、札幌大谷中学校・高等学校が使用するグラウンドを前面改修し、人工芝グラウンドが完成しました。全天候型の多目的グラウンドであり、道内の学校では初とのこと。

これまでの土のグラウンドは劣悪であったため、雨が降ると体育

授業や部活動が滞ることもあり、

また、整備しても整備しても石が出現し、活動中のけがなどを心配することも多々ありました。ですから、この度の全天候型人工芝グラウンドの完成は、大谷学園にとってはもちろん、私自身にとっても念願であり、今年度一番うれしい出来事であります。

工事期間中は体育授業やクラブ活動ができないことへの心配があ



りましたが、後援会の協力、援助をいただき、グラウンド使用の部活動は他施設で行うことができました。また、長谷川体育施設株式会社北海道支店様には多大なるご尽力をいただき、素晴らしい施設を作っていただきました。その他皆さんの協力、援助があつてこそその完成であり、ご尽力をいただきましたすべての方にこの場を借りて感謝申し上げます。

今後におきましては、さらなる大谷学園の発展につなげていけるよう、教職員一同、教育活動に邁進して参りたいと思います。

## 編集後記

コロナ禍のため広報部としての活動も出来ない中、先生方皆様のお力を借り発行する事が出来ました事、感謝申し上げます。

コロナの終息と学校に響き渡る子供達の笑い声が一日も早く戻って来ます事、心より願っております。

PTA広報部 部長 池田 香

今年度はコロナ禍のため休校やオンライン授業が続く、行事や大会の多くが中止になりました。しかし、このような状況でも様々な場面で活躍した生徒達がいました。また卒業の時期を迎えるにあたり、厳しかったこの一年の記録として、PTAだより122号を発行することとなりました。原稿依頼を快く引き受けてくださった生徒の皆さん、先生方、監督の方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

コロナウイルスの猛威が一日も早く終息することを願うと共に、皆様のご健康をお祈り申しあげます。

PTA広報部担当 下村 美穂